

▶株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1
TEL 06(6228)2811

東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3
TEL 03(5259)5711



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。



証券コード:4956

KONISHI REPORT

第89期 株主通信 平成25年4月1日～
第2四半期累計期間 平成25年9月30日



中期経営計画達成に向け、 コア事業での確固たる地位の確立と信頼性の確保、 海外進出を見据えた事業戦略を進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による大規模な金融緩和、政府が打ち出す公共投資等による景気刺激策を背景に、円安進行による輸出の持ち直し、株価の上昇、個人消費の持ち直し等、企業業績や景気は緩やかに回復しています。先行きについても2020年の東京オリンピック開催が決定し、長期での景気の回復基調が予測されます。一方、海外経済においては、緩やかな回復基調にはあるものの、アメリカの財政不安や新興国経済の成長鈍化による景気下振れの要因がある等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては、景気回復に伴う期待感や消費増税前の駆け込み需要により、戸建て住宅やマンションの新設およびリフォーム工事が堅調に推移しました。土木建築業界においては、政府が主導する復興需要の継続と公共投資の増加により、インフラ関連を中心とした補修・補強工事並びにストック市場における補修・改修工事が堅調に推移しました。自動車業界においては、前年のエコカー補助金制度の反動により業界全体としては前年を下回った生産で推移しているものの、好調な北米への輸出や消費増税前の駆け込み需要により一部で増産の動きが見られました。電子・電機業界においては、スマートフォンやタブレットといった携帯端末市場を中心に回復基調は見られるものの、全体としては依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、平成27年3月期を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い、コア事業での確固たる地位の確立と信頼性の確保による利益の創出、事業拡大による成長戦略、アジア市場への展開を売上達成の基本姿勢として、強い生産と物流体制、スピードのある研究開発部門の構築に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高527億86百万円(前期比3.1%増)、営業利益26億50百万円(前期比5.3%増)、経常利益27億70百万円(前期比15.7%増)、四半期純利益は15億94百万円(前期比19.8%増)となりました。

代表取締役社長 よこ た かし
横田 隆



ココニモ
コニシ

特集 kokonimo KONISHI

新聞広告WEBサイト「ココニモコニシ」
<http://www.bond.co.jp/koko/index.html>



vol.2 | 住関連外装編

完成すれば見えなくなってしまうことがほとんどですが、当社の製品は社会のあらゆる場所で活躍しています。そんな当社の取り組みをご紹介します『ココニモコニシ』、今回は従来当社が強みを持っている住関連分野での取り組みをご紹介します。

タイル施工用接着剤

近年、戸建て住宅やビル・マンション等の外観において、意匠に高級感を出したり、躯体の耐久性を高めたりする目的で外壁をタイル張りにする機会が増えてきています。従来はモルタルでタイルを張り付けていましたが、震災以降、揺れに追随し、タイルが剥落しにくい弾力性のある接着剤での施工が広まりつつあります。当社は、この分野でのシェアの拡大をめざし、積極的な営業活動を展開しています。また今期は栃木工場においてタイル施工用も含めた建築内外装用弾性接着剤の生産設備を増強し、今後の需要増に対応していきます。

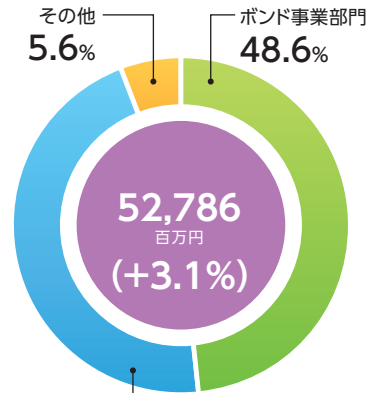


戸建て用シーリング材

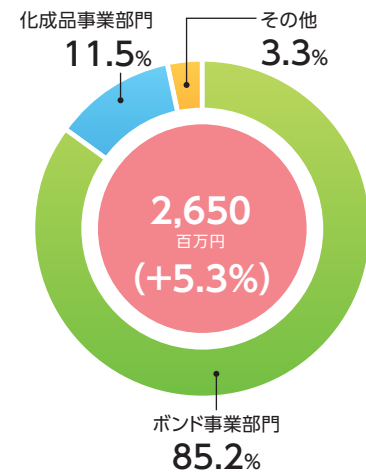
従来、日本の住宅の外壁にはモルタルや土壁を塗った「塗り壁」が主流でしたが、現在では多くの戸建て住宅の外壁に「サイディング」と呼ばれる板状の外壁材が用いられています。主流となっている窯業系サイディングは住宅外装用シェアの約7割を占めています。そうした中、サイディングのすき間を埋めるシーリング材の需要も増えてきています。コニシグループでは、作業性や耐候性などそれぞれのニーズに応えた戸建て用変成シリコン系シーリング材を開発し、お客様の好評を得ており、今後さらなるシェア拡大をめざし活動していきます。



売上高



営業利益



()内は前期比

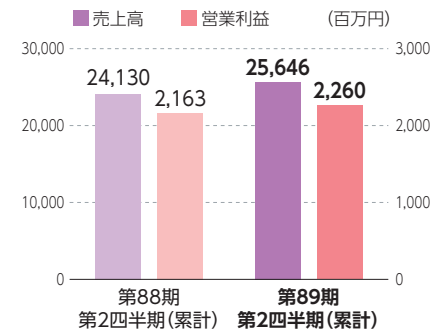
ボンド事業部門

売上高

25,646 (+6.3%)
百万円

営業利益

2,260 (+4.5%)
百万円



住宅関連

戸建て住宅およびマンションの新設着工戸数が堅調に推移し、内装工事用接着剤、建材用接着剤および戸建て用シーリング材が引き続き順調。

産業資材関連

紙関連用途向け水性接着剤、パネル用途向けウレタン系接着剤および自動車関連産業向け離型剤を中心に売上を伸ばす。

土木建築関連

道路、トンネル、橋梁等のインフラ市場における補修・補強工事並びにビル、マンション等のストック市場における補修・改修工事が増え、補修材や工法、また、ビル建設用シーリング材が順調。

一般家庭用関連

ホームセンターに対する新規製品導入やテレビコマercial放映による既存製品の拡販を展開した結果、順調に売上を伸ばす。



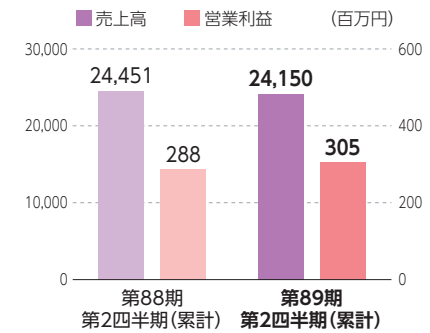
化成成品事業部門

売上高

24,150 (-1.2%)
百万円

営業利益

305 (+5.7%)
百万円



化学工業・塗料業界向け

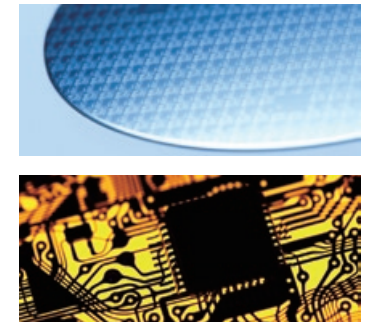
産業向け商品を中心に需要減となる中、高止まりする原材料価格の販売単価への転嫁を行ったが、売上は前年並みで推移。

電子・電機業界向け

一部業界の回復基調により封止材等の基板関連商材に動きはあったものの、全体としては売上が前年実績を下回る。

自動車業界向け

為替の円安基調により北米向け自動車販売が好調に推移するなど機能性材料等の販売は堅調なものの、前年のエコカー補助金制度の特需をカバーするまでには至らず、売上は前年実績を下回る。



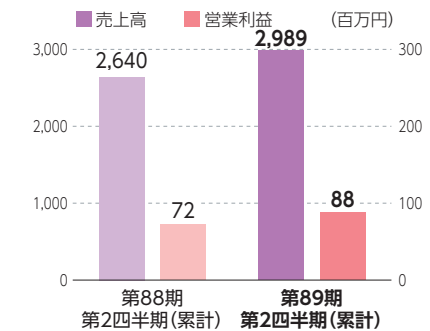
その他

売上高

2,989 (+13.2%)
百万円

営業利益

88 (+22.2%)
百万円



工事請負事業(土木建設工事業)

インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が順調に推移し、売上を伸ばす。

化学品データベース事業

海外向けのSDS作成支援ソフトおよび海外法規データベースの受注遅延等により売上は前年実績を下回る。

塗料事業

住宅設備、建築物およびレジャー用途向け製品の販売が順調。



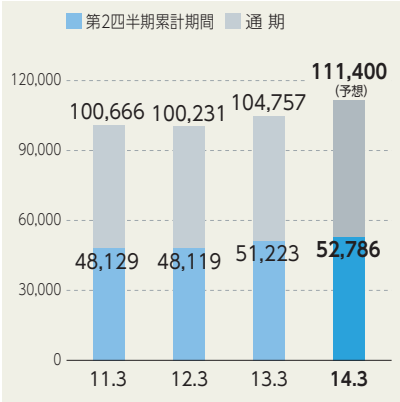
配当について

第89期(平成26年3月期)の中間配当は、直近の配当予想の通り1株当たり普通配当14円となります。また、年間配当金につきましては、期末配当14円を合わせた年間配当金28円を予定しております。

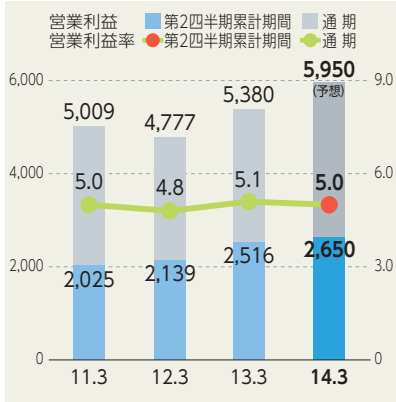
連結業績

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

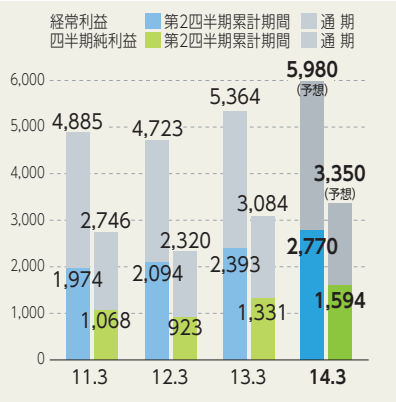
売上高 (百万円)



営業利益・営業利益率 (百万円・%)



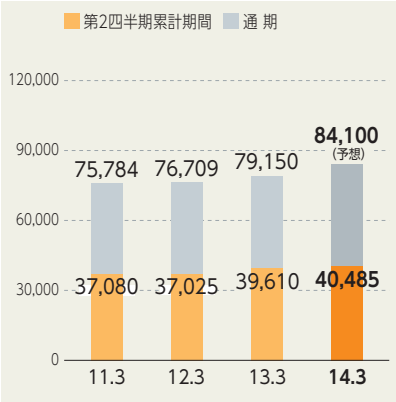
経常利益・四半期(当期)純利益 (百万円)



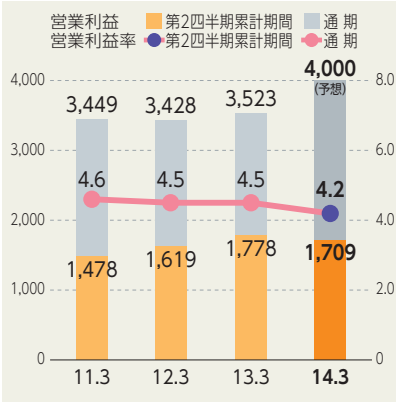
個別業績

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

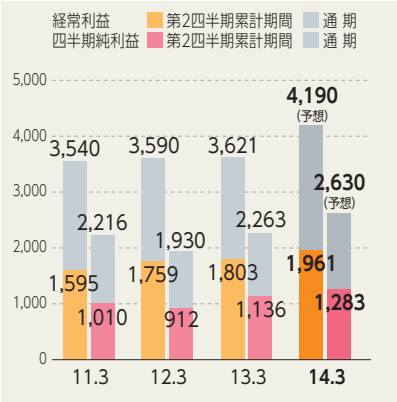
売上高 (百万円)



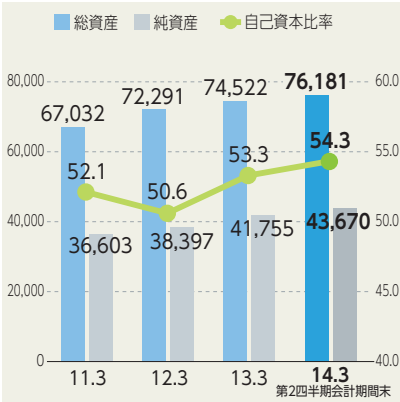
営業利益・営業利益率 (百万円・%)



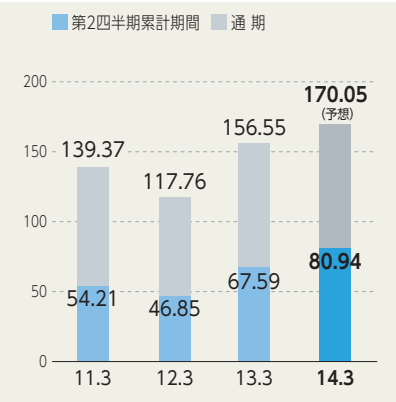
経常利益・四半期(当期)純利益 (百万円)



総資産・純資産・自己資本比率 (百万円・%)



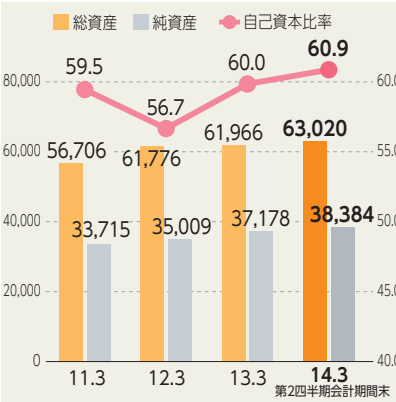
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



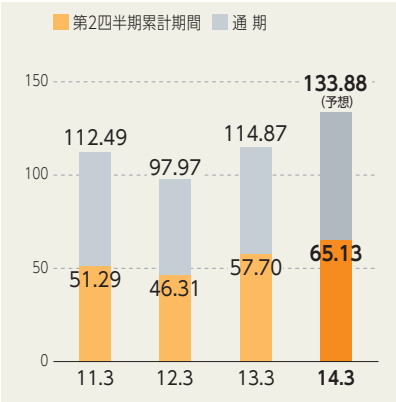
1株当たり純資産額 (円)



総資産・純資産・自己資本比率 (百万円・%)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



1株当たり純資産額 (円)



前年期末比

現金及び預金 +1,253百万円
受取手形及び売掛金 -1,454百万円
未成工事支出金 +599百万円
支払手形及び買掛金 -413百万円
投資有価証券 +529百万円

決算等のIRに関する情報は<http://www.bond.co.jp/> よりIR情報をご覧ください。

海外事業の強化

当社は、中期経営計画達成の基本戦略に従い「アジア市場への展開」を売上達成の基本姿勢の一つとしています。現在、接着剤・シーリング材等の生産拠点として中国「科陽精細化工(蘇州)有限公司」、ベトナム「Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.」、精密成型部品の生産拠点としてインドに「KF Instruments India Pvt.Ltd.」があります。販売拠点としては、中国「科昵西貿易(上海)有限公司」、タイ「Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.」、台湾に「台湾丸安股份有限公司」の3拠点を構えています。

この度、アジア市場へ更なる事業展開を推進するため、インドネシアに販売拠点である「PT.Konishi Indonesia」を設立しました。既存拠点とともにアジア地域における海外ネットワークを構築し、事業拡大をめざしてまいります。



▶ インドネシアに化成品事業関連の販売会社を設立【PT.Konishi Indonesia】

当社は平成25年7月、近年の日系企業における生産拠点の海外シフトに伴い、現地での顧客ニーズに応えるほか、今後も成長が見込めるアジア市場への事業展開を推進するため、インドネシア共和国ジャカルタ市に、化成品事業関連の販売会社「PT.Konishi Indonesia」を設立しました。接着剤や塗料の原材料の輸出入および販売、また汎用樹脂やエンジニアリングプラスチック樹脂など合成樹脂の輸出入および販売を行います。平成26年1月から本格的な活動を開始する予定としており、日系ユーザーのみならず現地メーカーへの販売も積極的に行ってまいります。



▶ インド子会社の工場拡張と設備増強【KF Instruments India Pvt.Ltd.】

当社は平成22年1月、インドにおいて精密成型部品(電子機器)の生産拠点「KF Instruments India Pvt.Ltd.」を設立しています。今後新規顧客向け製品の供給および既存顧客向け製品の増産等が控えていることから、工場の土地拡張と工場建設の投資に充てる増資を実施しました。「KF Instruments India Pvt. Ltd.」では、現在インド進出の日系企業向けに自動車など電装用のプラスチック部品を生産しており、これによりインド進出日系企業の事業展開に効率的かつ迅速に対応し、自動車・電子電機業界へのさらなる販売強化・拡充を進めてまいります。さらに商社の強みも発揮するべく、化学品の販売拠点を視野に入れた活動も行なってまいります。



▶ ベトナム持分法適用会社の子会社化【Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.】



当社は平成22年7月、ベトナムにおいて接着剤の生産拠点「Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.」を設立しています。従来当社の出資は40%でありましたが、急速な市場環境の変化に即応するため、経営の自由度を高め、意思決定の迅速化を図ることを目的として、当社の子会社といたしました。「Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.」では、主に木工用の接着剤を製造しており、現地メーカーへ供給を行っています。今後、経済成長に伴い家具などの木工用接着剤の需要が高まるベトナムを中心として、東南アジア地域での供給拠点を視野に入れ、生産から販売まで一貫した運営を推進してまいります。

会社概要

▶会社概要 (平成25年9月30日現在)

設立 1925年(大正14年)9月25日
資本金 46億03百万円
従業員数 連結1,089名、単独705名
証券コード 4956
事業所 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル
東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地 竹橋スクエア
支店 名古屋、福岡、札幌
営業所 仙台、北関東、南関東、金沢、広島、高松
製造拠点 栃木工場、浦和工場、滋賀工場
研究所 浦和研究所、基礎研究所、大阪研究所

▶セグメントと関係会社

ボンド事業部門	化成品事業部門	その他
コニシ(株)		
ボンド営業本部 生産・研究開発本部	化成品事業本部	不動産部門
連結子会社		
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 サンライズ・エム・エス・アイ(株) 科陽精細化工(蘇州)有限公司 Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)	丸安産業(株) 台湾丸安股份有限公司 科昵西貿易(上海)有限公司 Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド) PT.Konishi Indonesia(インドネシア)	ボンドエンジニアリング(株) 日本ケミカルデータベース(株) コニシ工管(株) ミクニペイント(株)

平成25年11月1日時点

株主様アンケートのご案内

本株主通信に添付している郵便はがきの株主様アンケートにご回答の上、ご返信ください。
「ボンド ウルトラ多用途S・U クリヤー 25ml」「ボンド ペーパーキレイ 30ml」をプレゼントいたします。
(応募者全員にプレゼントいたします。締め切りは平成26年1月20日消印有効とさせていただきます)



Corporate Profile

▶役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役会長 大丸 智夫
代表取締役社長 横田 隆
専務取締役 東郷 正人
取締役 小西 哲夫
取締役兼執行役員 須藤 孝也
取締役兼執行役員 皆見 昌宏
取締役兼執行役員 日下部 悟
取締役兼執行役員 有澤 彰三
常勤監査役 高村 輝男
監査役 竹内 鈴子
監査役 坂口 博信
監査役 狩野 仁
常務執行役員 山下 博史
執行役員 井上 孝一郎
執行役員 松下 眞一郎
執行役員 野田 昌治

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

▶株式の状況

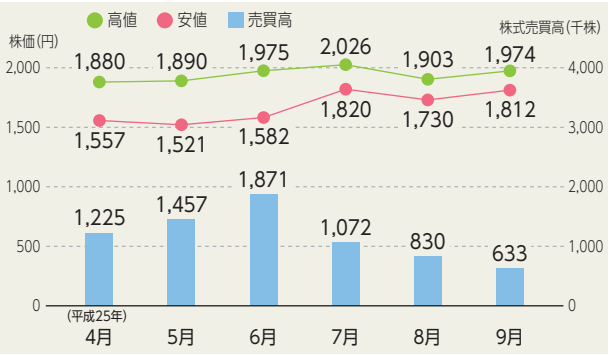
発行可能株式総数 80,400,000株
発行済株式の総数 20,353,720株
1単元の株式数 100株
株主数 4,909名

▶大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
小西信一郎	1,485	7.54
コニシ共栄会	1,133	5.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,045	5.31
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	579	2.94
小西千代子	410	2.08
コニシ従業員持株会	357	1.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	352	1.78
井上道子	345	1.75
株式会社カネカ	342	1.73
小西哲夫	309	1.57

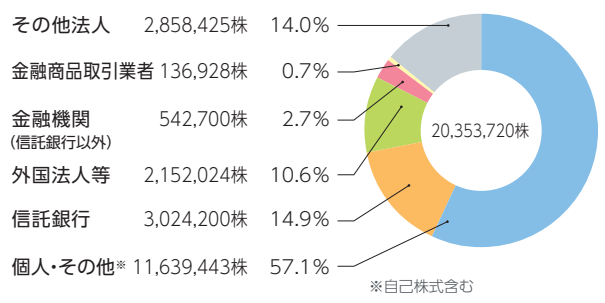
(注1)日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)および日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、すべて信託業務に係る株式であります。
(注2)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
(注3)持株比率は、自己株式(653,596株)を控除して記載しております。
また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

▶株価および株式売買高の推移

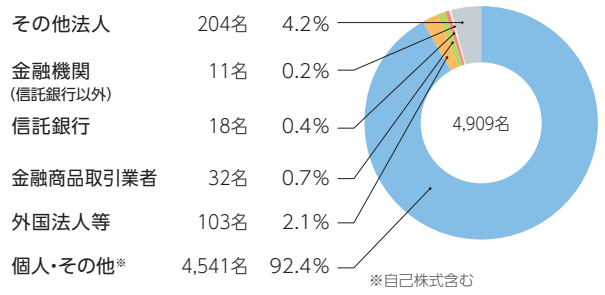


Stock Information

▶所有者別株式数の分布状況



▶所有者別株主数の分布状況



▶所有株数別株主数の分布状況

